

教える順序はこうする

いろいろの字が読めるようになったら、それらの字を組み合わせ、長いことばをつくり、これを絵本にはりつけてください。たとえば、「牛と馬」でもよいし、「大きな犬」「赤い花」というようなことばだと、もっとよるしいでしょう。

ついでですが、わたしの経験では、かなは、こういう、漢字と漢字とのうなぎことばとして教えるのが、いちばんよいと思っています。なぜかといいますと、かなはもともと具体的な内容や意味をもたない字なのです。ですから、「うし」「うま」というような具作物を表わす使い方は、漢字とかなの正しい使い方の学習に、さまたげとなると考えられます。

つぎに、教え方の順序の一例を申し上げます。

一 口 お口、花 お花、目 お目目、手 お手手

二 お日さま、お月さま、お父さん、お母さん

三 牛の子、鳥の羽、犬の赤ちゃん、お庭のお池

四 広い海、高い山、大きな汽車、小さい電車

五 赤い、赤い、夕日が、赤い。お日さま、にこにこ、雲の上。